

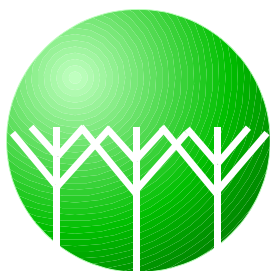
愛媛の国有林

令和5年度



土小屋登山道より石鎚山を望む

愛媛森林管理署



国民の森林・国有林



愛媛森林管理署管内 国有林分布図



I 管内国有林の概要

愛媛森林管理署が管轄する国有林は、主に、西日本最高峰の石鎚山（1,982m）を主峰とした四国山脈脊梁部の中部及び西部、さらには景勝地としても親しまれている南部の滑床溪谷や篠山周辺に分布しています。

面積は約4万ヘクタール（国有林野：3万7千ha、官行造林地：3千ha）で、愛媛県全体の森林面積 約40万ヘクタール（県土面積の7割）の1割にあたります。

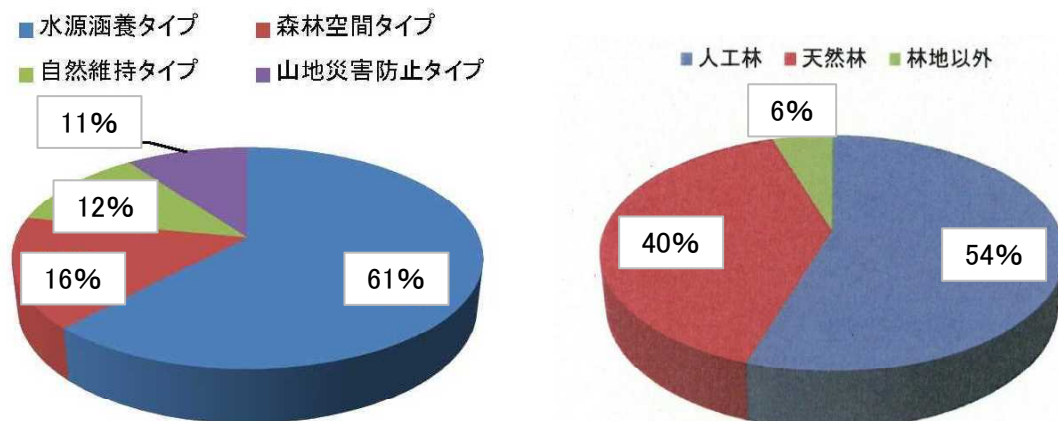
これらの国有林は、石鎚山系はもとより、製紙や織物などの工業地帯である瀬戸内沿岸、全国一の柑橘生産や豊かな漁場を擁する南予地域等の上流域に位置し、山地災害の防止や水源の涵養に重要な役割を担っています。

また愛媛県は、スギ優良材生産で知られる久万林業地を代表格に、ヒノキ生産量でも全国トップクラスの林業県で、CLTを丸太の加工から一貫生産できる集成材・CLT工場があるなど木材産業が盛んな県です。国有林では、人工林の間伐や主伐・再造林を適切に行い、木材の継続的な利用と安定的な供給を行うことが、地域の林業・木材産業を支えるために重要となっています。

さらに、石鎚山系や滑床溪谷、篠山をはじめとして、優れた森林生態系や貴重な動植物の生息・生育地を有し、景勝地としても多くの観光客が訪れる国有林においては、これらの保全と利用を適切に調和させ、地域経済に貢献することが求められています。

こうした自然的・社会的・経済的要請を踏まえ、森林の多面的な機能を高度に発揮するよう、適切な管理経営を行っています。

1 機能類型別面積比率及び人天別面積比率



国有林野面積 37.3千ha

2 市町別国有林面積

(単位ha)

| 市町村 | 国有林野 | 官行造林 | 計 | 市町村 | 国有林野 | 官行造林 | 計 |
|---------|-------|-------|--------|-------|--------|------|--------|
| 新居浜市 | 84 | 473 | 557 | 西予市 | 1,063 | 81 | 1,144 |
| 西条市 | 6,938 | 737 | 7,675 | 内子町 | 4,416 | - | 4,416 |
| 四国中央市 | 1,941 | 529 | 2,470 | 肱川流域計 | 5,479 | 81 | 5,560 |
| 東予流域計 | 8,963 | 1,739 | 10,702 | | | | |
| | | | | 宇和島市 | 5,662 | 48 | 5,711 |
| 松山市 | - | 93 | 93 | 松野町 | 1,734 | 52 | 1,786 |
| 今治市 | 965 | - | 965 | 鬼北町 | 1,635 | 132 | 1,767 |
| 伊予市 | 121 | - | 121 | 愛南町 | 2,736 | 336 | 3,073 |
| 東温市 | 1,242 | 13 | 1,255 | 南予流域計 | 11,768 | 569 | 12,337 |
| 砥部町 | 185 | - | 185 | | | | |
| 今治松山流域計 | 2,513 | 106 | 2,618 | | | | |
| | | | | | | | |
| 久万高原町 | 8,619 | 751 | 9,370 | | | | |
| 中予山岳流域計 | | | | | | | |

| | 国有林野 | 官行造林 | 計 |
|------|--------|-------|--------|
| 愛媛署計 | 37,341 | 3,246 | 40,587 |

注)四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。



3 国有林野の流域別林種別面積及び蓄積

(単位：上段 ha、下段 m³)

| 流域 | | 人工林 | | 天然林 | | その他 | 計 |
|------|----|-----------|---------|---------|-----------|--------|-----------|
| | | 育成単層林 | 育成複層林 | 育成複層林 | 天然生林 | (人伐含む) | |
| 東予 | 面積 | 3,334 | 17 | 439 | 4,781 | 392 | 8,963 |
| | 材積 | 1,224,620 | 7,578 | 57,114 | 566,474 | | 1,855,786 |
| 今治松山 | 面積 | 1,480 | 22 | 35 | 892 | 83 | 2,513 |
| | 材積 | 549,945 | 12,873 | 4,237 | 143,822 | | 710,877 |
| 中予山岳 | 面積 | 3,200 | 27 | 79 | 4,528 | 785 | 8,619 |
| | 材積 | 1,020,134 | 8,431 | 13,069 | 1,033,841 | | 2,075,475 |
| 肱川 | 面積 | 3,584 | 40 | 239 | 1,280 | 336 | 5,479 |
| | 材積 | 1,188,691 | 16,956 | 41,759 | 197,120 | | 1,444,526 |
| 南予 | 面積 | 8,279 | 168 | 176 | 2,638 | 507 | 11,768 |
| | 材積 | 2,947,999 | 63,339 | 40,827 | 484,135 | 599 | 3,536,899 |
| 計 | 面積 | 19,876 | 274 | 969 | 14,120 | 2,102 | 37,341 |
| | 材積 | 6,931,389 | 109,177 | 157,006 | 2,425,392 | 599 | 9,623,563 |
| 比率 | 面積 | 53% | 1% | 3% | 38% | 6% | |
| | 材積 | 72% | 1% | 2% | 25% | | |

注)四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

II 管理経営の方針

愛媛森林管理署は、間伐等森林整備を着実に実施し、国有林の有する公益的機能をより一層発揮するとともに、木材の安定供給や先進的な技術の積極的な導入等を進め、利用期を迎えた森林資源を活かした林業成長産業化に、民有林と一体となって貢献するよう努めます。

さらに、これらの取組を通じて地元との連携を深め、地域の活力創生に寄与することを旨として、国有林を管理経営しています。

1 国有林野の機能類型区分

| 区 分 | 機能類型区分の考え方（対象） | 管理経営の考え方（施業方法） |
|---------------------|---|---|
| 山地災害防止タイプ | 山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を重視する森林 | 根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持 |
| 自然維持タイプ | 原生的な森林生態系や希少生物の生育・生息する森林等、生物多様性の保全機能を発揮を重視する森林 | 原生な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持 |
| 森林空間利用タイプ | 保健、レクリエーション機能又は文化機能の発揮を重視する森林 | 保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成 |
| 快適環境形成タイプ (該当なし) | 騒音の低減、大気浄化、木陰の提供等による気象の緩和等居住環境を良好な状態に保全する機能を重視する森林 | 防音や大気浄化に有効な森林の幅を維持するため、原則として育成複層林へ導くための施業 |
| 水源涵養タイプ | 良質な水の安定供給を確保し、水源かん養機能を発揮して、国民生活に欠かせない良質な水の供給を重視する森林 | 人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮 |

2 機能類型別面積（流域別）（単位：ha）

| 機能類型 | 流域 | | | | | |
|-----------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| | 今治松山 | 東予 | 肱川 | 中予山岳 | 南予 | 計 |
| 山地災害防止タイプ | (29%) 719 | (14%) 1,278 | (15%) 810 | (6%) 530 | (7%) 853 | (11%) 4,190 |
| 自然維持タイプ | — | (13%) 1,125 | (4%) 223 | (35%) 3,029 | (0%) 55 | (12%) 4,433 |
| 森林空間利用タイプ | (10%) 262 | (24%) 2,143 | (6%) 324 | (16%) 1,404 | (15%) 1,822 | (16%) 5,955 |
| 水源涵養タイプ | (61%) 1,531 | (49%) 4,417 | (75%) 4,122 | (42%) 3,655 | (77%) 9,038 | (61%) 22,763 |
| 計 | 2,513 | 8,963 | 5,479 | 8,619 | 11,768 | (100%) 37,341 |

注)四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

注)快適環境形成タイプは、該当なし。

3 保安林の指定状況

(単位：ha)

| 種 別 | 面 積 | 備 考 |
|---------------|--------|-------------------|
| 水 源 涵 養 保 安 林 | 33,297 | 洪水や濁水の緩和、水を育む効果 |
| 土砂流出防備保安林 | 1,061 | 土砂の流出、崩壊による土石流を防ぐ |
| 土砂崩壊防備保安林 | 5 | 山崩れを防ぐ |
| 干害防備保安林 | 102 | 簡易水道などの水源が枯れるのを防ぐ |
| 潮害防備保安林 | 19 | 津波や高潮による被害を防ぐ |
| 魚つき保安林 | 19 | 魚類の繁殖を助ける |
| 保健保安林 | 7,087 | 森林レクリエーション等の場の提供 |
| 計 | 34,418 | 面積計は、種類の重複を除く面積 |

資料：国有林野施業実施計画書

III 令和5年度の主要事業量

1 収穫

(単位：千m³)

| 区 分 | 立木販売 | 製品資材 | 事業支障木 | 計 | 備 考 |
|-----|------|------|-------|-------|-----|
| 主 伐 | 59.4 | | | 59.4 | |
| 間 伐 | | 75.5 | 1.4 | 76.9 | |
| 計 | 59.4 | 75.5 | 1.4 | 136.3 | |

2 素材生産

(単位：千m³)

| 区 分 | 予 定 量 | 備 考 |
|------|-------|-------------------------------------|
| 請負生産 | 49.0 | 16件（うち造林事業との組合せ：3件、 複数年に亘る契約：2件） |

3 造林事業

(単位：ha)

| 区 分 | 予 定 量 | 備 考 |
|-------|-------|----------------|
| 植 付 | 36 | 全量コンテナ苗(6.8万本) |
| 下 刈 | 46 | |
| 除 伐 | 28 | 全量除伐Ⅱ類 |
| 保育間伐 | 579 | (活用型、存置型) |
| 本数調整伐 | 14 | |

4 治山事業

| 区 分 | 件 数 | 備 考 |
|-------|-----|-------------------|
| 国有林治山 | 3 | 谷止工・流路工 (繰越含む) |

5 林道・森林作業道

(単位：m)

| 区分 | 林道名 | 延長 | 備考 |
|---------|------|--------|---------|
| 林業専用道 | 蔭地 | 20 | 1路線(災害) |
| 高密度作業路網 | 根無山外 | 97,400 | 16路線 |

IV 優れた自然環境の保全と利用

1 保護林

原生状態の森林や、遺伝的に優れた林分が残されている森林、それぞれの地域の自然を代表する植物群落を有する森林などを「保護林」に指定し厳格に保全しています。

(1) 設定状況

(単位：ha)

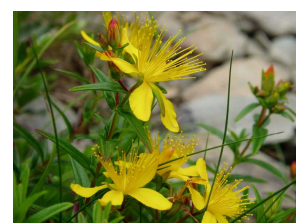
| 保護林の種類及び名称 | 面積 | 主な樹種 |
|-----------------------------|-----------------|------------------------------|
| 石鎚山系 森林生態系保護地域 | 4,245 (嶺北署含) | ウラジログシ・モミ・ツガ・ウラジロ モミ・シラベ林 |
| 小田深山(遺伝資源) 希少個体群保護林 | 8 | ブナ・カシ類・カエデ類 |
| 滑床山ウラジログシ(遺伝資源) 希少個体群保護林 | 37 | ウラジログシ・アカガシ・カエデ類 |
| 計 | 4,290 | |

(2) 森林生態系保護地域

平成2年4月に石鎚山を中心とした4,245haが「石鎚山系森林生態系保護地域」に指定されました。

保存地区は、森林生態系の厳正な維持を図る区域としてモニタリング(長期的変化の継続的観察)、生物遺伝資源の利用等の学術研究、その他公益的な利用以外には人手を加えずに自然の推移に委ねる扱いとしています。

保全利用地区は、保存地区に外から環境変化が直接及ばないよう緩衝の役割を果たす区域として、開発を伴わない森林レクリエーション等の場として利用する扱いとしています。

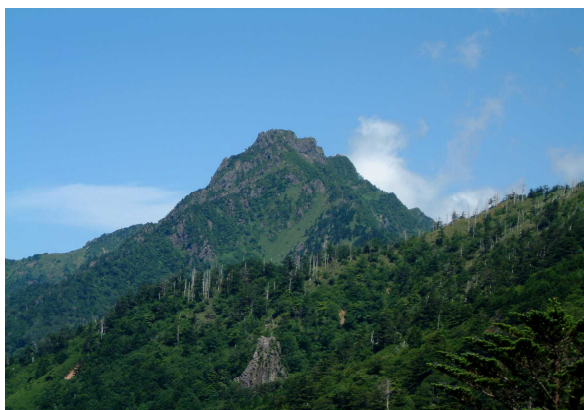


カネトキリ

【石鎚山系森林生態系保護地域の面積】

(単位：ha)

| 管轄森林管理署等 | 保存地区 | 保全利用地区 | 計 |
|--------------|-------|--------|-------|
| 愛媛森林管理署(愛媛県) | 1,149 | 2,671 | 3,820 |
| 嶺北森林管理署(高知県) | 81 | 344 | 425 |
| 計 | 1,230 | 3,015 | 4,245 |



石鎚山系生態系保護地域



(3) 緑の回廊

国有林では、より広範で効果的な森林生態系の保護のため、これまで個々に保全を図ってきた保護林等を相互に連結して、森林の連続性を確保することにより、野生動植物の生息・生育地の拡大と相互交流を促す「緑の回廊」を設定しています。

愛媛森林管理署管内では、石鎚山から高知県の白髪山を結ぶ回廊として、石鎚山系森林生態系保護地域を始めとする保護林間を連結した「緑の回廊」2,353haを設定しています。

石鎚山地区

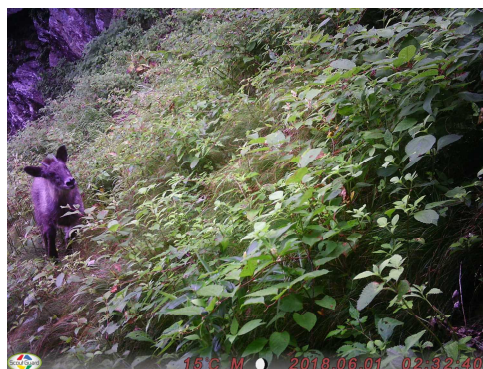
四国の脊梁に位置する石鎚山から、高知県の白髪山を結ぶ延長約70km、幅約2kmの回廊です。

平成30年には、愛媛県レッドデータブックで「県内絶滅」とされてきた、国の特別天然記念物ニホンカモシカを、緑の回廊（伊予富士）で確認しています。

石鎚山地区緑の回廊



自動撮影カメラに映ったニホンカモシカ



2 レクリエーションの森

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」に選定し、広く国民に森林レクリエーションの場として提供しています。

(単位：ha)

| 名 称 | 面 積 | 関 係 市 町 |
|---------------|----------|--------------|
| 面河四国カルスト自然休養林 | 1, 5 0 2 | 西条市・久万高原町 |
| 瓶ヶ森自然休養林 | 7 8 9 | 西条市 |
| 滑床自然休養林 | 1, 2 3 2 | 宇和島市・鬼北町・松野町 |
| 小田深山溪谷風景林 | 9 1 | 内子町 |
| 大谷池風景林 | 1 6 5 | 伊予市・砥部町 |
| 堂ヶ森風景林 | 4 4 | 西条市・久万高原町 |
| 石鎚風景林 | 1 2 9 | 西条市 |
| 篠山風景林 | 2 4 8 | 宇和島市・愛南町 |
| 成就野外スポーツ地域 | 3 4 | 西条市 |
| 計 | 4, 2 3 5 | |

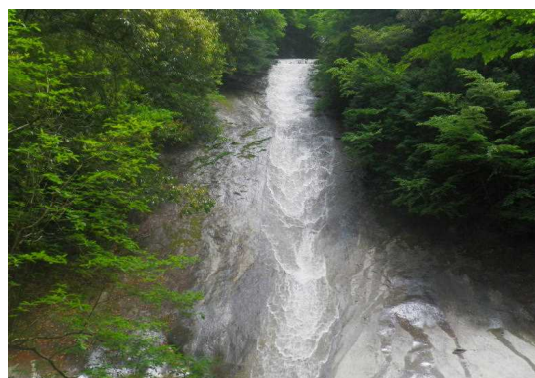
注)四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

※「日本美しい森 ～お薦め国有林～」

林野庁は、特に優れた自然景観を有し、観光資源としても魅力のあるレクリエーションの森を「日本美しい森～お薦め国有林～」に選定し、当署管内では石鎚風景林と滑床自然休養林が選ばれました。



石鎚風景林



滑床自然休養林（雪輪の瀧）

4 水土保持複層モデル林

(1) 遅越山国有林 38 林班（久万高原町）

この森林は、久万高原町を流れる久万川の支流有枝川上流に位置する国有林です。高さ、年齢が異なる木で構成される森林で、このような森林を「複層林」と呼んでいます。上層を占める木（上層木と言います。）の最も高齡のヒノキが、安政6年（1859年）に植えられたことから、地元では、「安政の森」と呼ばれています。

上層を占める木の植栽年数の違いにより、「安政の森」、「明治の森」、「昭和の森」3つの林分があり、三世代に亘る複層林を見ることができます。



遅越山国有林38林班の遠景



林内

※ 「水土保持複層モデル林」の概要（遅越山国有林38林班ほ1・ほ2・ほ3小班）

| 区分 | 面積(ha) | 樹種 | 植栽年(西暦) | 林齢(年) |
|------|--------|-----|--|--------------|
| 安政の森 | 1.20 | ヒノキ | 上層木=安政6年(1859)、中層木=昭和23年(1948)、下層木=昭和62年(1987) | 上164 中75 下36 |
| 明治の森 | 1.33 | ヒノキ | 上層木=明治43年(1910)、下層木=昭和62年(1987) | 上113 下36 |
| 昭和の森 | 0.88 | ヒノキ | 上層木=昭和23年(1948)、下層木=昭和62年(1987) | 上75 下36 |

林齢：苗木を植栽した年度を1年生とし、以後、2年生、3年生と数える。

(2)若山国有林2041林班わ小班(宇和島市)

この森林は、宇和島市の水道水源池の上流にある国有林で、この地域を代表するスギ・ヒノキの複層林となっており、水源のかん養と水質保全を目的として、生活に欠かせない豊かな水の供給や山崩れ防止等の水土保持の機能を高度に発揮させるよう取り扱っています。



面積：4.77 ha

植栽：上木=嘉永3年(1850年) 172年生

下木=昭和60年(1985年) 39年生

3 森の巨人たち百選

林野庁では、平成12年4月に次世代への財産として残すべく、国有林内の代表的な巨樹・巨木を「森の巨人たち百選」として選定しました。

四国森林管理局管内では、7本の巨人たちが選定され、愛媛森林管理署管内には久万高原町猪伏山国有林77林班い小班内のトチノキが選定されています。



トチノキ（樹齢：約600年）

4 国立・国定公園、県立自然公園

(単位：ha)

| 種 別 | 特 1 | 特 2 | 特 3 | 普通 | 計 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 瀬戸内海国立公園 | - | - | - | 114 | 114 |
| 足摺宇和海国立公園 | 129 | 763 | 1,237 | - | 2,130 |
| 石鎚国定公園 | 1,850 | 2,831 | 1,934 | 169 | 6,784 |
| 四国カルスト県立自然公園 | 136 | 254 | 687 | 375 | 1,451 |
| 皿ヶ嶺連峰県立自然公園 | - | 141 | - | 1,357 | 1,499 |
| 奥道後玉川県立自然公園 | - | 23 | - | - | 23 |
| 篠山県立自然公園 | - | 32 | 759 | - | 791 |
| 計 | 2,114 | 4,044 | 4,617 | 2,016 | 12,791 |

注)四捨五入の関係で計が一致しない場合がある。

V 職員構成・組織機構

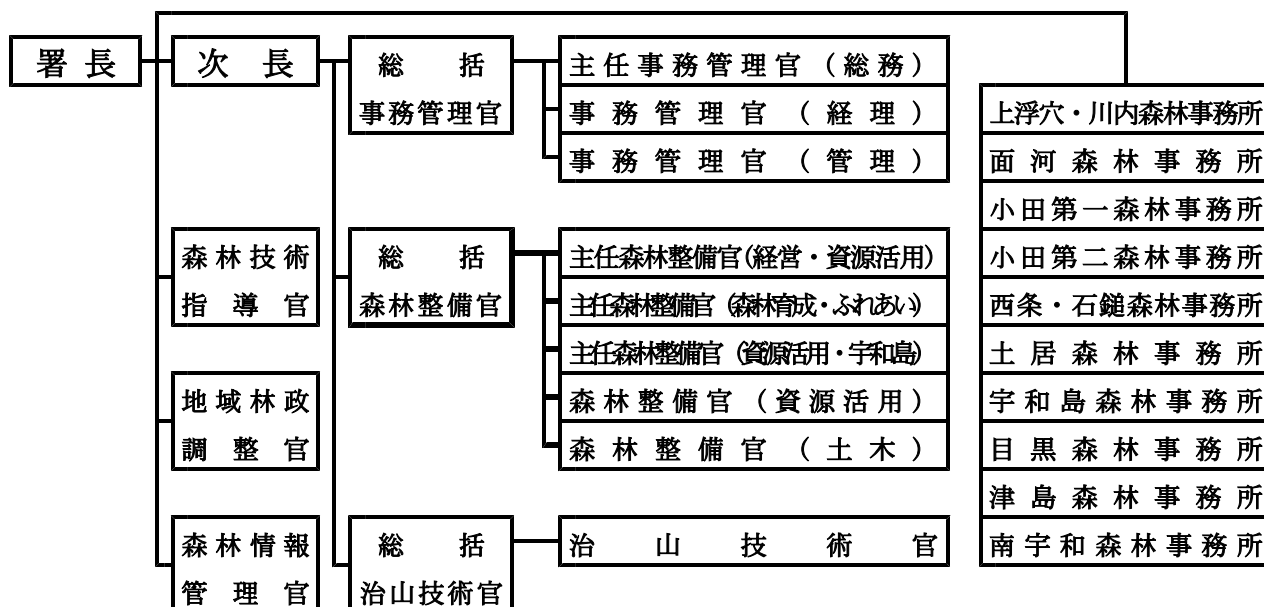
1 職員構成

令和5年4月1日現在 (単位：人)

| 所属 | 職 種 | 定員内 職 員 | 再任用 職 員 | 合 計 |
|-------------|-----|------------|------------|-----|
| 本 署 | | 20 | 1 | 21 |
| 上浮穴・川内森林事務所 | | 1 | 1 | 2 |
| 面河森林事務所 | | 1 | | 1 |
| 小田第一森林事務所 | | | | |
| 小田第二森林事務所 | | 1 | | 1 |
| 西条・石鎚森林事務所 | | 2 | | 2 |
| 土居森林事務所 | | 1 | | 1 |
| 宇和島森林事務所 | | 4 | 1 | 5 |
| 目黒森林事務所 | | | | |
| 津島森林事務所 | | 1 | | 1 |
| 南宇和森林事務所 | | 1 | | 1 |
| 計 | | 32 | 3 | 35 |

2 組織機構

令和5年4月1日現在



愛媛森林管理署

〒791-8023

松山市朝美2丁目6番32号

TEL : 089-924-0550

Eメール : shikoku_ehime@maff.go.jp